

全能の神よ、聖なる福音をふさわしく告げるため、わたしの心と口を清めてください。

主日の福音 2023/1/8(No.1216)

主の公現 (マタイ 2:1-12)

お生まれになったイエスを拝む人は喜びに満たされる



御公現の祭日を迎えました。東方からやってきた学者たちが幼子イエスを拝むことで、ユダヤ人だけでなく、すべての人に神の救いの計画がおおやけになりました。私たちも、救いの計画が遠いユダヤのためだけでなく私たちのものとなったことを喜び合いましょう。

本日のミサ、昨年末に亡くなられた名誉教皇ベネディクト 16 世のため、また田平教会出身の死せる司祭亡くなった主任司祭及び教会建設で亡くなられた恩人のための意向を加えておささげしています。中田藤吉神父様は、1月8日。それぞれ、教会のために尽くし、教会のためにいのちをささげました。占星術の学者たちと重ねて、思い巡らしてみましよう。

占星術の学者たちが最初に語ったのは次のことでした。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」(2・2) 東の国からやって来た学者に、「ユダヤ人の王としてお生まれになった方」が、どんな意味があるのでしょうか。それは、日本に住む私たちにとって、と置き換えることもできます。

学者たちは礼儀として、他国の王を拝み、贈り物を献げた、ということでしょうか。そうではないと思います。贈り物には意味があったと言われています。「黄金」がまことの王を表し、「乳香」がまことの祭司を表し、「没薬」が最も高貴な人として埋葬されるべき方を表すなら、出発の意味と最終的な意味は違うことも考えられます。

出発として「ユダヤ人の王としてお生まれになった方」ではあっても、最終的には「人類すべてにとって王であり祭司であり高貴な人である」と理解して礼拝したのではないのでしょうか。ユダヤ人のためにお生まれになった方は、最終的に人類すべてのためにお生まれになったのです。

海外のニュースで、名誉教皇ベネディクト 16 世のご遺体がバチカンの礼拝堂に安置される様子が流れました。降誕節の中で旅立っていく姿は、「幼子イエスのそばに置かれ、救い主のそばに置かれて慰められた」という印象を持ちました。

田平教会出身で亡くなった司祭、また田平教会で主任司祭の務めを果たして今は亡くなった司祭、また聖堂建設の中で命を落とした信徒も、今日のミサの中で「幼子イエスのそばに置かれ、救い主のそばに置かれて今は慰めを受けている」そう理解しています。イエスを信じたすべての人は、イエスのそばに置かれたとき、最終的な慰めを受けるわけです。

占星術の学者たちは、自分たちの持ち合わせの中で最高のものを幼子イエスの前に置いて自分たちの国へ帰って行きました。名誉教皇ベネディクト 16 世、田平教会出身の亡くなった司祭、田平教会の主任をなさって亡くなった司祭、教会建設で尊い命をおささげした信徒の皆さんも、

福音のことばによって、わたしたちが罪から清められますように。

全能の神よ、聖なる福音をふさわしく告げるため、わたしの心と口を清めてください。

ご自分の命という、最高のものを幼子イエスの前に置いてくださいました。

主の公現のミサに集まった私たちは、何を幼子イエスさまのもとに置いて、喜びながら日常に戻っていくのでしょうか。私は何をささげようとして、ここに集まったのでしょうか。学者たちは黄金乳香没薬を置いて帰りました。田平教会の司祭、教会建設で亡くなった信徒たちは自分の命をイエスのもとに置きました。私たちは日々の生活の中で、何をイエスさまのもとに置きますか。

年間第 2 主日(ヨハネ 1:29-34)

福音のことばによって、わたしたちが罪から清められますように。